

## 2-4 サイン計画

### (1) 基本方針

来訪者の浜松城公園への導入動線及び公園内の動線に沿った適切な解説とスムーズな誘導ができるよう、体系的な情報提供を行う。

#### ① サインの体系

総合案内板、遺構解説サイン、遺構名称サイン、誘導サイン（公園への導入、公園内の誘導、遺構への誘導）、眺望サイン、規制サインの6種類とする。公園入口には、来訪者をスムーズに誘致するため、移動手段に応じた誘導サインを設置する。

#### ② 設置位置

来訪者が浜松城跡の見所を効率よく見学するために、見所となる要素の近傍及び動線との関係から必要となる地点に最小限設置する。設置には、遺構に影響を及ぼさないよう配慮する。また、撮影スポットでは、撮影に邪魔にならない場所に設置する。

#### ③ 表示内容

シティプロモーションや誘客拡大に貢献するため、ユニバーサルデザインに配慮して、多言語化や身体障害者のスムーズな誘導のための縦断勾配の表示、ピクトサイン表示等の充実を図る。図や写真を使ったわかりやすい統一感のあるサインとする。遺構解説は、文化財課の協力のもと、調査・資料収集等の進捗で得られた情報に合わせた内容とする。

#### ④ デザイン・素材

デザインは、城跡の雰囲気を変えない統一したものとする。規模は、周囲の景観を害さない程度の大きさとする。素材は、見やすさ、歴史的な周辺景観との調和、耐久性、経済性の面から適切に選定する。

#### ⑤ シンボルマーク

主要な既存サインには、シンボルマークとして家康の兜印の「羊歯印」が表示されている。浜松城をアピールするため、今後設置するサイン、パンフレット等にも同様に使用する。

#### ⑥ 他のツールとの連携

史跡の解説や案内サインは、サインが煩雑にならないよう、パンフレットやインターネット、ボランティアガイド等と連携した情報提供を行う。特に、高齢者や車いす・ベビーカー利用者等のために、駐車場の位置と見学場所を明らかにし、必要最低限の見学で浜松城を理解できるような情報提供を行う。



家康の散歩道沿いの街路灯



公園への誘導サイン



浜松城公園総合案内板

羊歯印が表示された既存サイン

## (2) 整備計画

サイン整備は、計画対象地内の既存サインの有効活用と、公園全体のサインとの調和を踏まえて計画する。

### ① 既存サインの現状と課題

はじめに、必要なサイン種別と既存サインの現状と課題を整理した。次頁に既存サインの位置図・写真を示す。

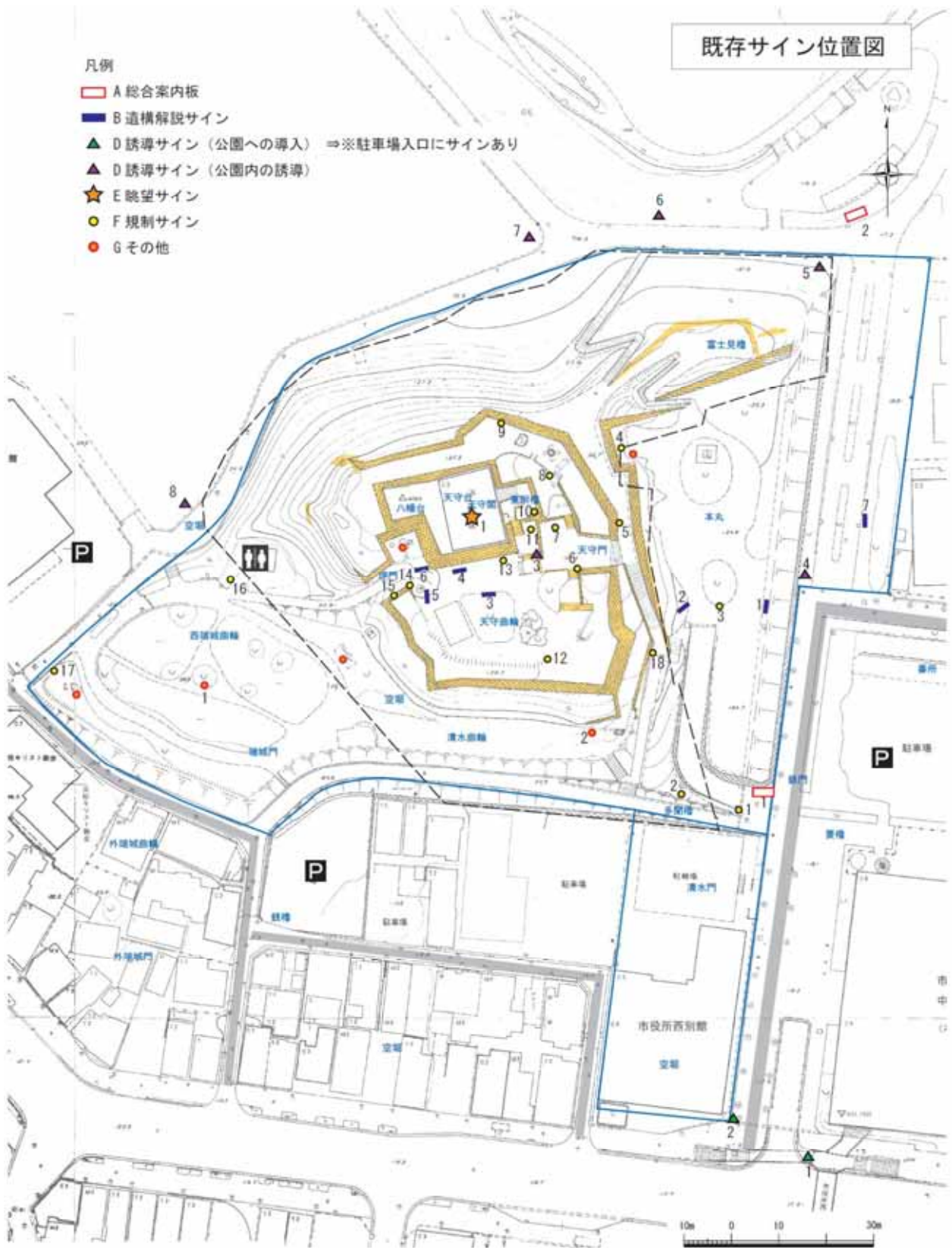
#### サイン種別 計画対象地の既存サインの現状と課題

サイン種別	現状		課題
	表示内容	設置位置	
A 総合案内板	浜松城公園の案内図、古図、現在位置	東側から天守閣への上り口 駐車場から歴史ゾーンへの入口	浜松城跡の見どころを案内する内容にはなっていない。当時の浜松城の様子を想像できるような工夫が必要である。
B 遺構解説サイン	遺構の名称、遺構解説(解説文、図)	天守曲輪、本丸、二の丸、八幡台、井戸(解説文のみ) 天守台石垣、二の丸(図入り)	現在の見解と異なっていたり、設置位置や大きさが不適切で遺構を隠してしまっているなどの問題点がある。
C 遺構名称サイン	なし	なし	浜松城跡の見どころとなる遺構の位置を示す必要がある。
D 誘導サイン(公園への導入)	公園入口、方向	利用者駐車場へのメイン入口、南エントランス	駐車場入口のサインが分かりにくい。公園外の交通拠点から公園への誘導サインも必要である。南側の入口も分かりにくい。南エントランスの整備により歩行者・自転車の入口を明確化する。
D 誘導サイン(公園内の誘導)	公園内各施設の名称、方向、距離	園路の分岐点	公園内において歴史ゾーンへの誘導が適切に行われている。
D 誘導サイン(遺構への誘導)	なし	なし	浜松城跡の見どころとなる遺構への誘導を図る必要がある。
E 眺望サイン	視対象の名称と方向、図	天守閣展望台(4方向)	整備の進捗状況に応じた更新が必要である。
F 規制サイン	利用上の注意事項など管理上の行動規制に関する情報	必要に応じて最小限設置	今後も継続して維持管理を行う必要がある。
G その他	記念碑、顕彰碑等	天守曲輪、本丸、西端城曲輪、清水曲輪	既存サインの取扱いを検討し、歴史ゾーン内にあることが相応しくないものは、移設・撤去する必要がある。

# 既存サイン位置図

## 凡例

- A 総合案内板
- B 道横解説サイン
- ▲ D 誘導サイン (公園への導入) ⇒ ※駐車場入口にサインあり
- ▲ D 誘導サイン (公園内の誘導)
- ★ E 眺望サイン
- F 規制サイン
- G その他





既存サイン写真

A 総合案内板



1 浜松城公園総合案内板



2 浜松城公園総合案内板

B 遺構解説サイン



1 遺構解説板（二の丸）



2 遺構解説板（本丸）



3 遺構解説板（天守曲輪）



4 遺構解説板（石垣）



5 遺構解説板（井戸）



6 遺構解説板（八幡台）

既存サイン写真



7 遺構解説板（二の丸）

D 誘導サイン



1 南エントランスへの誘導サイン



2 南エントランスへの誘導サイン  
（浜松城と家康の散歩道）



3 天守閣・トイレ誘導サイン



4 注意看板（公園管理）と誘導サイン  
（家康の散歩道と公園内の誘導）



5 公園内の誘導サイン



6 公園内の誘導サイン



既存サイン写真



7 公園内の誘導サイン



8 公園内の誘導サイン

E 眺望サイン



1 駐車場への誘導サイン



1 天守閣展望台の眺望サイン

F 規制サイン



1 家康の散歩道誘導サインと道路標識



2 道路標識



3 遺構位置表示石柱



4 注意看板（文化財）



既存サイン写真



5 ボランティアガイドのぼり (他にもあり)



6 注意看板 (安全管理)



7 家康の散歩道解説板 (他 2 点)



8 注意看板 (安全管理)



9 注意看板 (安全管理)



10 注意看板 (文化財)



11 見学案内その他



12 注意看板 (モラル)



既存サイン写真

F 規制サイン



13 注意看板 (文化財)



14 注意看板 (安全管理)



15 注意看板 (文化財)



16 注意看板 (城主家紋の説明あり)



17 注意看板 (公園管理)



18 注意看板 (文化財)

G その他 (他にも顕彰碑、記念碑等あり)



1 市民の木 (プラタナス) 解説看板



2 浜松市音かおり環境資源百選看板



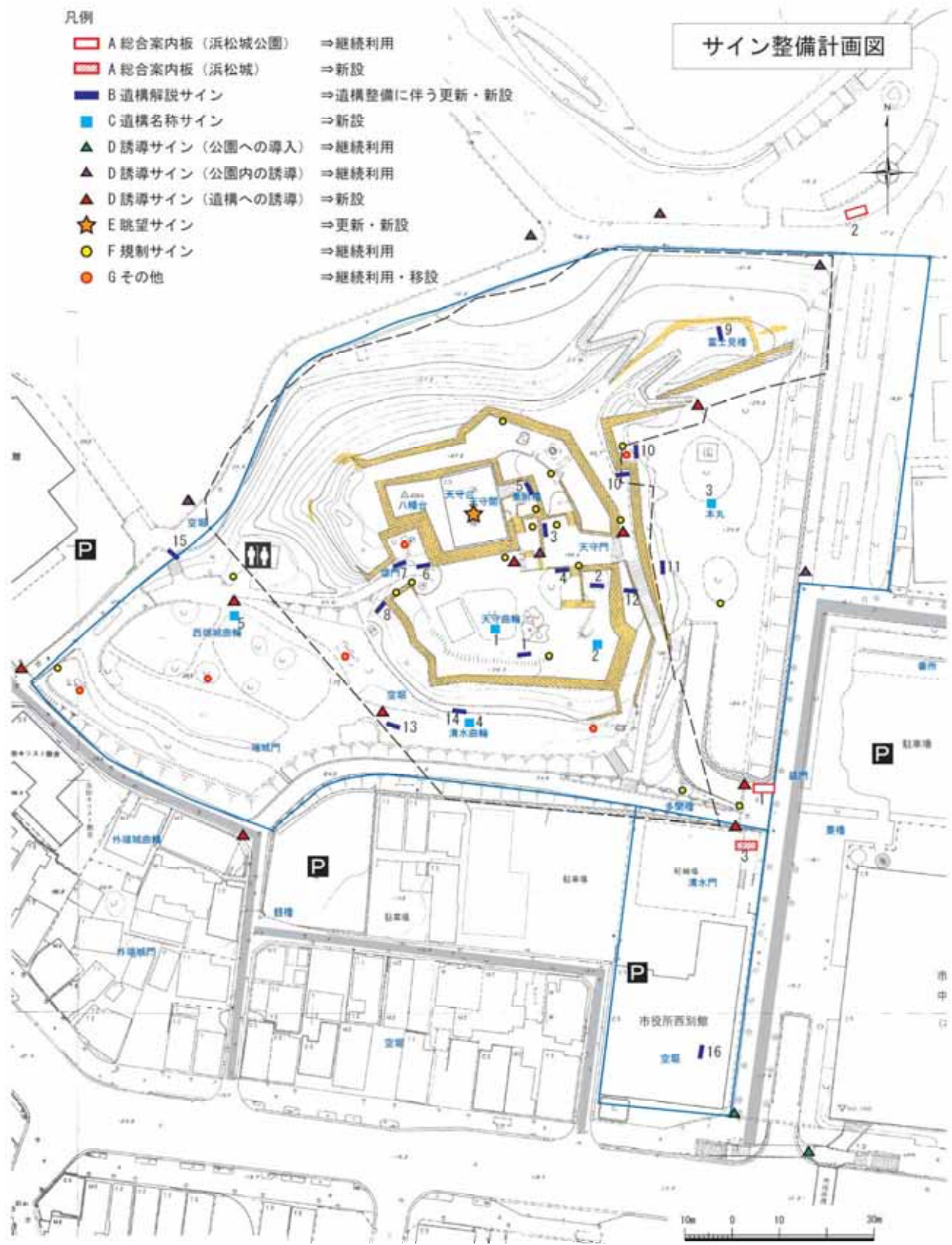
## ② サイン整備計画

必要なサイン種別とそれらに対応する既存サインの利用の可否を検討し、今後の取扱いとして、継続利用、更新、移設、新設に整理した。サイン整備は、各地区の遺構整備にあわせて、発掘調査成果のもとに整備を実施する。サイン種別ごとに設置するサインを以下に示す。

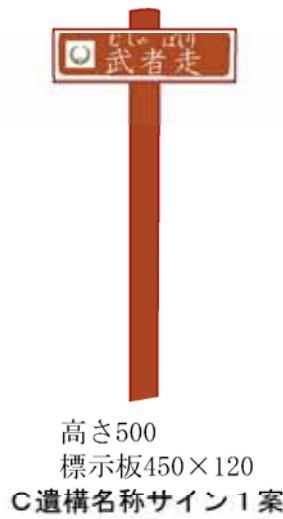
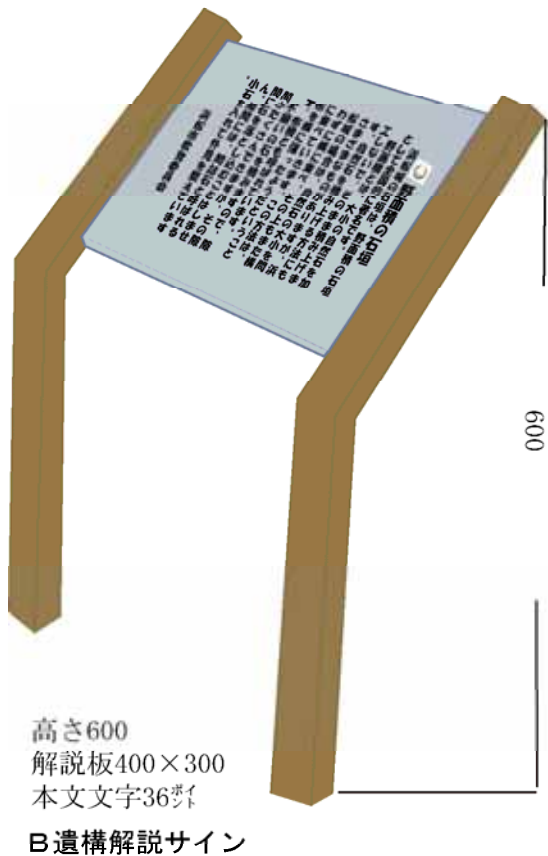
### サイン整備計画

サイン種別	表示内容	既存サインの取扱い	設置位置	対図番号
A 総合案内板 (浜松城公園)	浜松城公園の案内図、古図、現在位置	継続利用 ※必要に応じて表示を追加	東側から天守閣への上り口、駐車場から歴史ゾーンへの入口	1 2
			南エントランス	3
A 総合案内板 (浜松城)	浜松城の見どころ案内・解説(写真、図表、解説文)、現在位置	新設	南エントランス	3
B 遺構解説 サイン	遺構の名称、遺構解説(写真、図表、解説文等)	遺構整備に伴う更新・新設	天守曲輪・天守台・天守閣	1
			天守門	2
			鏡石	3
			天守曲輪枳形	4
			東附櫓	5
			八幡台	6
			埋門	7
			屏風折	8
			富士見櫓・横矢	9
			二重の石垣・入隅 (本丸上段と下段に各1基)	10
			古い石垣と新しい石垣	11
			腰曲輪	12
			空堀(清水曲輪北部)	13
			鉢巻石垣	14
			空堀(西端城曲輪)	15
			空堀(南エントランス)	16
C 遺構名称 サイン	遺構の名称	新設	天守曲輪	1
			武者走	2
			本丸	3
			清水曲輪	4
			西端城曲輪	5
D 誘導サイン (公園への導入)	公園入口、方向	継続利用	南エントランス 駐車場へのメイン入口	—
	公園名称、方向、距離	広域のサイン整備事業で対応	公園外の交通拠点からの道路沿線	—
D 誘導サイン (公園内の誘導)	遺構、各施設など目標物の名称、方向、距離	継続利用 ※必要に応じて表示を追加	園路の分岐点	—
D 誘導サイン (遺構への誘導)	目標とする遺構の名称、方向	新設	園路の分岐点	—
E 眺望サイン	視対象の名称と方向、図	更新・新設	天守閣展望台のサイン更新、その他主な眺望点(展望広場等)に新設	—
F 規制サイン	利用上の注意事項など管理上の行動規制に関する情報	継続利用	必要に応じて最小限設置	—
G その他	記念碑、顕彰碑等	継続利用・移設	市民の木解説看板は継続利用、その他の記念碑等は移設	—

サイン配置計画図・サインのデザイン案を次頁に示す。







サインデザイン案